



# 代表質問

第1回定例会の代表質問内容は次のとおりです。

スマートフォン等で読み込むことで、インターネット中継の録画映像をご覧ください。



2月26日(木)

## 自民党



寺本 義勝議員

質問

### 10分・20分構想の進捗と今後の整備方針は

以前提案したように、産業道路から国体道路を二階建てにして空港アクセス道路とし、浜線バイパスを二階建てにして城南スマートインターまで接続させる南連絡道路について、検討の俎上にあげてもらえるのか。

答弁

令和7年は意見聴取を実施するなど、着実に取り組みを進めている。ルート帯などについては、ご提案のルートも含め、あらゆる可能性を検討する必要があると考えており、丁寧かつ着実に検討を進め、早期実現を目指していく。



### その他の質問項目

- 令和8年度当初予算
- 主要事業の現状と今後の見通し
- 日中関係悪化による本市への影響

## 熊本自民



平江 透議員

質問

### 熊本市電など公共交通への公費投入について

市電など公共交通に公費を投入するのであれば、郊外部においても、現在、運行しているデマンドタクシー<sup>(※1)</sup>などの導入促進を行うとともに、運行範囲の拡大にも積極的に取り組むべきと考える。市長の所見は。

答弁

市電など公共交通の整備とともに、地域の実情を踏まえたコミュニティ交通の充実も重要であり、AIデマンドタクシーについて、残る空白地域の解消に向け、市域南部においてさらなるエリア拡大を予定している。



### その他の質問項目

- 平成28年熊本地震から10年にあたって
- 大規模災害、豪雨災害への備えと迅速な対応
- 有明海の漁場環境再生と熊本市の水産業振興の推進
- 都市計画の長期的な基本的方針

## 公明党



浜田 大介議員

質問

### 市役所新庁舎の床面積の再検証を

AIやDX、市役所業務改革、自治体防災など分野横断的な知見を有する専門家も参画の上で、中長期的視点に立った真に必要な市役所機能と、それに見合った無駄のない床面積を改めて検証すべき。

答弁

新庁舎の床面積は、行政需要の変化やDXの進展による職員の増減を勘案し算出した。今後、DXなどの専門家からも意見聴取し、未来の市役所のあるべき姿を見据えた床面積をお示しできるよう、あらためて精査する。



※現時点でのイメージです。

### その他の質問項目

- 市長マニフェスト
- 困難な状況にある子供への支援
- 若者支援
- DX推進

## 市民連合



上田 芳裕議員

質問

### 公共交通の再構築に向けて

バス市電などの大幅な利用者減少で、路線バス運行の確保を目的に補助金が交付されているが交付額は年々増加している。今後進められる運輸連合の組織化・設立の検討の中で、バス事業者の支援の在り方も検討すべきでは。

答弁

利用者数の低迷や運転士不足の深刻化などによる収益悪化が、事業者の経営の圧迫を招き、公共交通の維持が困難な状況であるため、今後は「赤字補填」から脱却し、「利便性を高める未来への投資」に舵をきる必要がある。



### その他の質問項目

- 庁舎整備
- 特別市制度
- 熊本連携中枢都市圏の取り組み
- 大規模災害時の対応



# 一般質問

第1回定例会の主な質問内容は次のとおりです。

スマートフォン等で読み込むことで、インターネット中継の録画映像をご覧ください。



2月27日(金)

## 自民党



落水 清弘議員

質問1

### 子供の不運・不幸な「不登校」をなくすために…

①保護者との対話は？②教育コンサルの活用は？③相談機関の適時・適切な紹介は？④教師の事務作業の簡素化は？

答弁

実践的な研修、コンサルの経験共有、相談窓口の一元化や事務効率化などにより対応力向上やこどもと向き合う時間の確保に繋げる。

質問2

### 世界で問題になっている、子供のSNSについて

オーストラリアの16歳未満へのSNS規制法、香川県のゲーム依存対策条例、豊明市のスマホ2時間以内条例等から、本市の対応は？

答弁

学習者用タブレット端末の夜間インターネット閲覧制限や、児童生徒自らによるSNSなどの家庭での利用ルールの策定に取り組む。



## 熊本自民



山本 浩之議員

質問1

### 技能士育成に対する本市の基本方針は

今後熊本市における技能士育成政策にどのような展望と責任を見据えているのか、本市の見解は。

答弁

技能士の育成は重要であり、今後も普及啓発活動の支援や職業訓練施設での技能士育成を通じて、強い産業基盤の構築を目指す。

質問2

### 今後の特別競輪の招致は

今回の「全日本選抜競輪(G1)」開催に引き続き、特別競輪を招致する考えがあるのか、市長の見解を問う。

答弁

令和9年度に再度、特別競輪を招致したいと考えており、市長自らトップセールスを行い積極的な招致に努める。



## 公明党



高瀬千鶴子議員

質問1

### 「すい臓がん」対策の推進を

5年生存率を2倍に向上させている「尾道方式」への認識と本市におけるすい臓がん対策についての考えは。

答弁

「尾道方式」については優れた取り組みであると認識している。今後、周知啓発を行うなど、すい臓がんを含めたがん対策を強化する。

質問2

### 小児のインフルエンザワクチン接種費用の助成を

ワクチン現物支給による経費削減で生まれた財源を使って小児のインフルエンザ予防接種助成ができないか。

答弁

ワクチンは公衆衛生・健康保持の観点から重要であり、現物支給を拡充しつつ、費用助成の導入方法などについて詳細に検討していく。



3月2日(月)

## 市民連合



西岡 誠也議員

質問1

### 都市政策研究所の在り方の見直しを

調査研究が活かされているかの検証と、研究内容実現のため縦割り行政を横のつながりで進める組織にすべき。

答弁

調査研究は政策立案などに係る有用な基礎資料と認識。令和8年度より科学的根拠に基づく政策形成を支える組織「EBPM推進センター」に再編する。

質問2

### 県道田迎木原線(木部線)の冠水被害対策

貯留管整備に関し、水の流れや効果について外部有識者の意見を聞き、安価でできるように検討をと指摘。現状は。

答弁

公共施設用地を活用した地下への貯留施設整備により下流域への負担を軽減し、河道拡幅や固定堰の改修を進め冠水解消を図る。

